

新型コロナウイルス感染症 高齢者施設での感染対策 －標準予防策－

地方独立行政法人
市立吹田市民病院

感染管理認定看護師
中田 淑子

入所施設での感染対策

入所施設では、外部からのウイルスの侵入を防ぐよう
感染経路を遮断することが重要

ウイルスを「持ち込まない」

「持ち出さない」

「拡げない」

感染を拡げないための対策

- **標準予防策**

(スタンダード・プリコーション)

- **感染経路別予防策**

- **事前準備 など**

感染を拡げないための対策

－ 標準予防策 －

- 適切な手指衛生
- 咳エチケット
- 防護具の適切な着用
- 適切な環境と物品の整備
- 入所者との関わりの中やケア場面での感染対策
- 職員同士の間での関わりの中での感染対策

感染を拡げないための対策

－標準予防策－

手指衛生（手洗い）

- ・ 適切な方法でできていますか？
- ・ 適切なタイミングでできていますか？
- ・ 手指衛生が必要な場面で行えるよう環境を整えていますか？



感染を拡げないための対策

<手指衛生> ★適切な方法★

正しい手の洗い方



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

感染を拡げないための対策

<手指衛生> ★適切な方法★

<手指消毒剤の擦り込み>

★**手のひら・手の甲・指先・指の間・親指・手首**
の部位にしっかり擦り込む

★消毒剤は適量（ワンプッシュ）を取る

感染を拡げないための対策

<手指衛生> ★適切なタイミング★

- ・ 入所者の方々に接触する前後
- ・ ケア（排泄ケア、食事の準備・介助、保清ケア・口腔ケア・吸引等）をする前後
- ・ フロアを移動する前後
- ・ 出勤後、外出先から帰ってきたとき
- ・ 食事休憩前後
- ・ 防護具を脱いだ後（着用する前も） など・・・

感染を拡げないための対策

＜手指衛生＞ ★手洗い環境整備★

- ・ **必要な場所に手指消毒剤を配置**

施設および各フロアの出入口、ケア台車、人が集まる環境、
トイレ等

- ・ **個人で手指消毒剤を携帯する**

環境への設置が困難な場合が多々ある状況下を考慮する

- ・ **手洗い場所には石鹼液と使い捨てのペーパータオルを設置**

感染を拡げないための対策 - 咳エチケット・マスク着用 -



正しいマスクの着用



- しぶき（飛沫）を周囲にまき散らさない
- しぶきで手を汚さない（手が汚れたら手を洗う）
- マスクは適切に着ける

感染を拡げないための対策

－マスク着用－

- マスク 鼻から顎までしっかり覆う



×鼻だしマスク



感染を拡げないための対策

－マスク着用－

- 着けてることで安心してはダメ
人はマスク（表面）をよく触っている



手洗いが大事
マスクは汚いとい
う意識を持つ

触る手が汚染される可能性がある

触る手でマスクが汚染される可能性もある

感染を拡げないための対策

－マスク着用－

- マスク（表・裏面）は汚染されているという意識をもつ
 - ・ 外すときゴム紐をもって外す
 - ・ マスクの供給不足での使用制限
→ 外したマスクの保管が必要
外したマスクを無造作に保管しない
マスクの面にはできるだけ触らない
再利用のマスクを装着する前後では手指衛生を徹底



感染を拡げないための対策

－ 環境整備 －

- ・ 手がよく触れる環境や物はこまめに清掃消毒
- ・ 共用の設備の清掃消毒

環境整備は大事だけど・・・

不特定多数の人が使用する環境はすぐにまた汚れます
いつでも環境は汚染されているという認識を持って

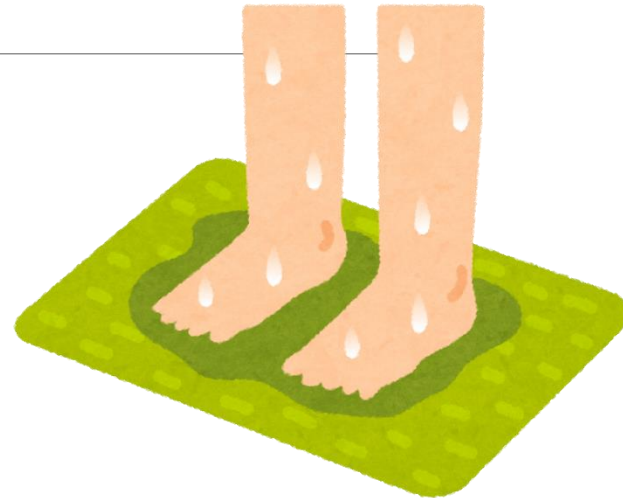
こまめな手洗いが大事

環境や物を消毒しているから安心ではない

感染を拡げないための対策

－物品の整備－

- ・ 共用のものをできるだけ使わない
- ・ 共用するなら使用毎に洗浄するか消毒する
- ・ 個人使用の物品をまとめて一緒に置かない



感染を拡げないための対策

－ケア場面での感染対策－

＜体液や分泌物での曝露が考えられるケア場面＞

オムツ交換、陰部洗浄、排泄物の処理、口腔ケア、
食事介助、物品の洗浄・消毒、汚染リネンの処理・消毒など

防護具の適正な使用

マスク・エプロン・アイシールド（フェイスシールド着用）

身を守ることが拡げないことにつながる

感染を拡げないための対策

－ケア場面での感染対策－

<体液や分泌物での曝露が考えられるケア場面>

着用した防護具を脱ぐときに自身を汚染してしまう危険あり
→感染拡大につながる

防護具を脱ぐときは手順に沿って慎重に
(マニュアル整備&訓練)

防護具を脱いだ後は手指衛生！

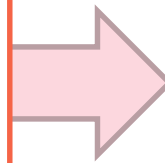
感染を拡げないための対策

－ 関わり場面での感染対策 －

- ・ 人が集まったり、近くで会話する時など関わる時にはお互いがマスクを着用する（基本）



入所者の方がマスクを着用できない場合

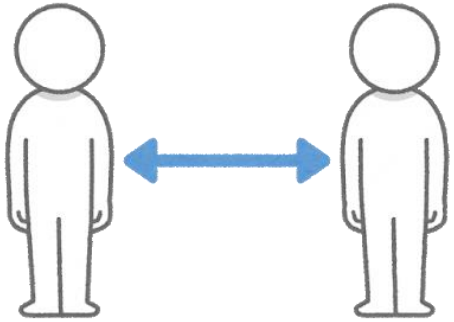


アイシールド、フェイスシールド

密に関わる、近くで会話するとき等

感染を拡げないための対策

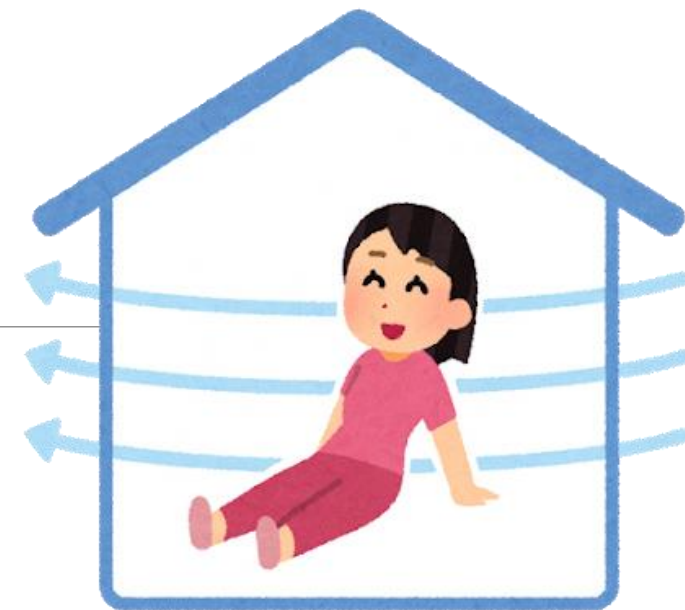
－レクリエーション（集合）での感染対策－



- ・ マスクを着用する
- ・ マスクを外す場合→距離を確保、向き合わない配置
- ・ 体調確認して集合（参加）
- ・ 前後での手指衛生
- ・ 時間をずらして人数制限
- ・ こまめな室内換気
- ・ 施設内での密集するような イベントは控える

ソーシャル
ディスタンス
換気と利用者間
の距離に留意

換気



- **定期的に行う**
例えば日中は1時間に1回程度、1回10分程度
- **開窓による換気は2方向以上で行う。**
※風の流れができるように施設状況に合わせて工夫する。
- **発熱や検査中の入所者がいる場合は、個室に入室で個室の換気**
この場合の個室での換気は1方向のみの換気で、換気時には個室の空気を施設内のオープンエリアに流れない工夫が必要
- **何よりこまめな換気が大切**

感染を拡げないための対策

－ 職員同士の関わりの中での感染対策 －

- ・ 会話をするとき、近距離（手を伸ばしたら届く距離）で関わる時はお互いが必ずマスクを着用する。
- ・ 密閉空間での会議や集まりは避ける。集合時の3密回避。
- ・ 食事や休憩中、3密にならない工夫。
マスクをしてから会話を楽しむ
食事中は会話は控える
換気、時間を工夫し人数制限 など

感染を拡げないための対策

- ・ 誰が感染しているか分からないという意識
- ・ 自身が感染しているかもしれないという意識

常日頃から

標準的な感染対策を徹底することが大事

そして事前準備をしておく

(教育、マニュアルの整備と周知)